

J R 東海 労 幹 関 西 地 「 申 」 第 3 1 号
2 0 1 6 年 2 月 2 5 日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 田中 守殿

J R 東海 労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 小林 國博

セキュリティ扉の安全確保に関する申し入れ

昨年5月以降、駅の業務用扉の「未鎖錠」の事象（6件）が続いている。この問題は、扉を新設して以来、いっこうになくなっていない。

会社は社員に対して指導している内容は、社員の意識や行動について責任があるかのような内容に留まっている。

組合が抜本的な対策・改善を求めた申し入れに対して、昨年の11月19日の業務委員会において会社は「現行どうりとする」という誠意のない回答であった。結果、同じ事象はなくならず今日も改善されていないことを見ると会社に責任があると考えます。

よって、駅のホーム端業務用扉の未鎖錠を防止するために以下のように申し入れるので、早急に労使協議の場を設定すること。

記

1. 昨年5月以降、ホーム端業務用扉の6件の未鎖錠の原因について、明らかにすること。
2. 6件の未鎖錠の原因は、社員への責任転嫁であると考えます。会社は以上の6件についての原因究明を徹底し、扉自体の改善を行ったのか明らかにすること。
3. 全ての業務用扉に自動ドアクローザーを設置すること。
4. ドアが開いている間、扉を通過する関係者に注意喚起を促す警告音（音楽、アナウンス等）が鳴る設備を設置すること。

以上